企業・団体名（㈱明治　関東支社　長野オフィス）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･「明治グループ人権ポリシー」で、差別の禁止を明記している。また、人権尊重に関する教育･研修を行い差別しない体制を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ･研修の実施、相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･適正な労働時間の申告･管理の徹底 ･ノー残業デー（週1回）実施の徹底 ･会議効率化の推進 ･職場単位での業務の見直しと効率化								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･外国人技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や実態把握のためのアンケート調査を進めている。 ･外国人雇用ガイドラインを制定予定。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	「明治グループ労働安全衛生ポリシー」を制定し取り組んでいる。 ･法令や過去の災害の再発防止をまとめた「安全衛生ハンドブック」の活用による従業員への労働安全衛生教育の実施 ･過去の事故事例と教訓を示すパネルや安全体感設備などを備えた社内研修設備を活用し、風化防止に向けた教育の推進			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する理解を促進する為、年に1回ストレスチェックを実施			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･「明治グループダイバーシティ＆インクルージョンポリシー」を制定 ･DIAMOND PJによる各種取り組み推進 ･くるみんマークの2024年度取得に向けて取り組みを実施					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	「明治グループ能力開発方針」に基づき、従業員一人一人の成長とキャリア開発を図る能力開発体系を整えている				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･「明治グループ健康経営宣言」の制定 ･健康経営優良法人（ホワイト500）取得			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･製品廃棄量のKPIを設定し取り組んでいる（2025年度までに国内の食品事業における製品廃棄量を2016年度比50%削減 ･「1/3ルール」の見直しに向けた取り組みや一部商品について、賞味期限の延長、年月表示への変更に取り組んでいる ･プラスチック使用量削減のKPIを設定し、取り組んでいる											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	脱炭素社会に関する目標および実績をWEBページ上に公開（第三者保証取得済み） ･RE100加盟、SBT認定取得 ･「明治グループ長期環境ビジョン」を策定し、取り組みを行っている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･「明治グループ長期環境ビジョン」を策定し、取り組みを行っている。 ･Scope1,2だけでなく、Scope,3のKPIも設定し、削減に取り組んでいる。 ･再生可能エネルギー比率KPI,特定フロン全廃に向けたKPIを設定、取り組みを実施							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･気化した化学物質を回収する装置の設置、より安全な物質への代替、製造方法の改良による使用量の削減･不使用などを推進し、化学物質を管理を実施 ･PRTR制度の対象となる化学物質の届け出を行っています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･「明治グループ生物多様性保全活動ポリシー」、KPIを制定し、取り組みを実施 ･明治自然環境保護区（根室市）にて生物多様英保全活動の取り組みを実施。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	従業員が参加して行う「紙パックリサイクルキャンペーン」を年に2回実施 ･「明治グループプラスチック資源循環ポリシー」を制定、取り組みを実施												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	2030年度までに自社拠点での水使用量の売上高原単位を2017年度比20%以上削減を目指す【明治G連結】 ･水使用量実績（取水、排水）をウェブサイトにて開示（第三者保証取得済み） ･「明治グループ水資源ポリシー」を制定、取り組みを実施						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2021年度に国内生産系全事業所にてISO14001マルチサイト認証取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ウェブサイトにて環境情報を公開、統合報告書を発行している												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光発電設備の導入、再生可能エネルギー由来電力の購入、バイオエネルギーの活用に取り組んでいる。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	明治グループは「明治グループ調達ポリシー」を制定し、人権と地球環境に配慮した調達活動を行っている												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	明治グループは、透明・健全で社会から信頼される企業であるために、「明治グループ腐敗防止ポリシー」を制定し従業員への理解を深めている																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・企業行動憲章の周知徹底を図っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	明治グループは、製品や技術の研究・開発を通じて獲得した成果を知的財産として適切な保護に努めている								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護に関する法令や各種規範を遵守し、個人情報の適切な保護に努めている ・個人情報保護方針を掲げ、取り組んでいる。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・主要事業における直接的な取扱いが無いことを確認している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	「明治グループサプライヤー行動規範」を制定し、責任あるサプライチェーン構築に向けて取り組んでいる ・ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム（CGF）のメンバーとして各種ワーキンググループに参加 ・サステナブル調達アンケートの実施（Ecovadis社、明治オリジナルアンケート）					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	高品質で安全な製品・サービスに関連する情報の適切な開示を通じて、お客さまの信頼と満足の獲得に努めている			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	明治グループ理念に基づき、独自の品質保証システム「明治 品質コミュニケーション」を展開し、原料の調達からお客さまへの販売まで一貫したシステムで厳しい品質保証を行っている ・全ての工場でHACCAP手法を導入。また、GFSI承認規格も取得している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	「明治グループプラスチック資源循環ポリシー」を制定し、2030年までに容器包装などのプラスチック資料量を25%以上削減（2017年度比）する目標を定めた						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・発育や栄養相談（赤ちゃん相談室） ・たんぱく質摂取量の引き上げに向けた商品開発（低栄養） ・ミルク教室やチョコレート教室の食育活動の実施 ・アグロフォレストリ農法の推進（アグロフォレストリーチョコレート） ・特殊ミルクの製造販売を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・クリスマスこども大会の開催 ・自然学校体験プログラム「きのこたけのこ里山学校」の開催 ・全生産拠点において生物多様性の取り組みを実施 ・「明治グループ社会貢献活動ポリシー」とKPIを掲げ、取り組みを実施。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・明治ハピネス基金（年に2回募金活動実施） ・一般社団法人全国フードバンク推進協議会との連携（お菓子を寄贈） ・子どもの未来応援基金（2017年より） ・「明治グループ社会貢献活動ポリシー」とKPIを掲げ、取り組みを実施。従業員の積極的な参加を促している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・津別においてオーガニック牛乳の生産販売を実施。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・グループ理念、経営姿勢、行動指針の明文化 ・meijiブランドプロジェクトにるスローガンの浸透施策の実施（職場ミーティング、eラーニング、経営トップメッセージ動画など）								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	「コンプライアンス規程」や関連規程の整備、関連委員会の設置などを行い、内部通報制度の体制を整備している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	明治グループのサステナビリティ活動全体を統括する組織として、明治ホールディングスの経営会議の下に「グループサステナビリティ委員会」を設置。 ・CSO（Chief Sustainability Officer）を設置している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・2019年度からESGラージミーティングを実施 ・社外有識者とのダイアログを実施し、課題対策に反映 ・お客様相談センターの設置、満足度調査の実施 ・2020年度から従業員エンゲージメント調査を毎年実施。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	グループ全体の経営リスクを把握しリスク低減に取り組むと同時に、適切なリスクテイクに資するリスクマネジメント体制を構築																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	「社会課題への貢献」を実現するための具体策として「明治グループサステナビリティ2026ビジョン」、「明治グループ長期環境ビジョン」を策定。マテリアリティの特定と、KPIを設定し取り組みを実施。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画（BCP）に関する明治グループの基本方針を整備									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営人材像（リーダーシップバリュー）をもとにサクセッションプランを体系化・運用								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）